



# 令和6年二十歳の集い

1月7日(日)、文化会館で令和6年二十歳の集いが開催され77人が出席しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、初めて迎えた式典。華やかな衣装に身を包んだ参加者は、マスクなしでの旧友との再会によりいっそうの喜びを分かち合い、思い出話に花を咲かせていました。式典では、副町長や町議会議長の激励のメッセージに続き3人の代表者が二十歳の誓いを述べました。式典を通して、大人になる覚悟を胸に人生の節目としての新たな一步を踏み出しました。

タイトル文字：河内 幸太 さん

## 二十歳の誓い



私が一人前になるために、さまざまな経験をする事、成人として自覚し責任を持つこと、自分の力で前向きに進むことが必要だと感じています。そのために、自らの人生に責任を持ち歩んでいくことを誓います。

金井 大知 さん



私は現在、教員になるために日々学業に打ち込んでいると同時に、他の職業にも興味があり自分の進路に迷っています。しかし、この不安をいつか乗り越え成長し、向上心を忘れず日々挑戦していきます。

若林 翔太 さん  
代読：稲垣 扶久 さん



私は宮城県で一人暮らしをしています。それでもなお、この皆野町で家族、友人、先生や地域のかたがたと過ごした日々を忘れることはありません。皆野町で過ごした約18年間の日々が、私を成長させてくれました。

関口 碧斗 さん